

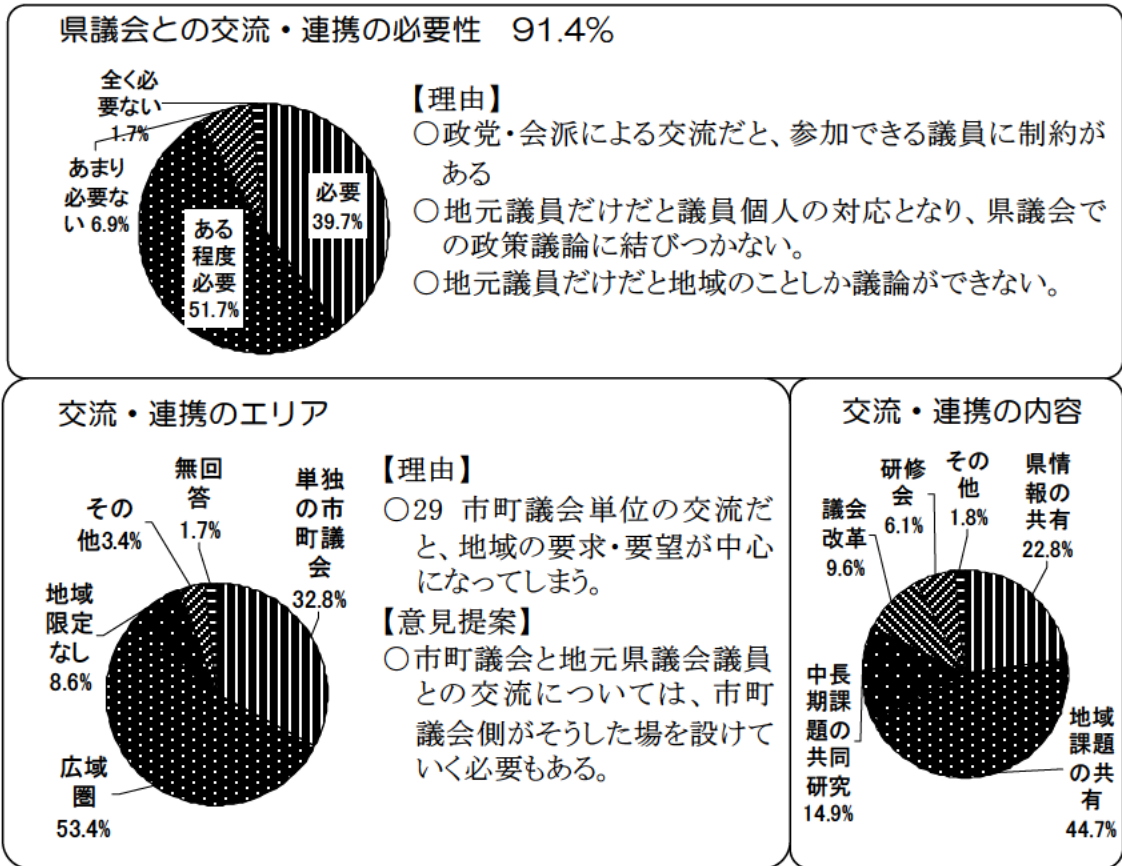
市町議会と県議会との交流連携会議について

平成23年11月9日

1 附属機関(三重県議会議会改革諮問会議)による外部評価

議会基本条例第12条に基づき、学識経験者等5人で構成する附属機関を設置(H21.3~H23.4)。

(1) 市町議会アンケート及びヒアリングの実施



(2) 議会改革諮問会議「第一次答申」(平成22年5月14日)

< 試行的取組を提言 >

「市町議会との交流・連携を通じた住民ニーズや地域課題の把握」

広域自治体議会として、市町議会のニーズが高い市町議会との交流・連携は、双方にとってメリットのある取組にしていく必要があるとともに、県議会にとっては、開かれた議会の取組強化にもつながる可能性があることから、県内の複数圏域で試行的な取組を行うことが期待されます。

2 市町議会との交流・連携会議

平成 20 年 8 月に、県内の自治体議会とより緊密な交流・連携を図り、政策提言や議会改革の推進につなげていくことを目的に開催しましたが、陳情・要望の場になってしまふ等の課題があり、一旦中断していました。しかし、諮問会議からの提案もあり、実施方法を改善してさらに取り組みを進めています。

(1) 市町議会と県議会との交流・連携会議

日時 平成 22 年 9 月 2 日(木) 14:00 ~ 16:40

場所 志摩市役所

対象 志摩市議会、南伊勢町議会

参加者 3 議会議員 19 名、廣瀬克哉氏(法政大学教授、三重県議会議会改革諮問会議委員) 3 議会の傍聴議員、職員など計約 60 名

進行 三重県議会議会改革推進会議会長

意見交換コーディネーター：廣瀬克哉氏(法政大学教授)

内容 開会挨拶(3 議会の議長)

意見交換

県議会からの提案事項

「今後の地方自治制度の中における議会の位置づけについて」

市町議会からの提案事項

「志摩地域における地場産業の活性化について」

「市町議会と県議会との交流・連携の在り方について」

閉会挨拶(三重県議会副議長)

< 検証結果 >

諮問会議廣瀬委員(法政大学教授)による整理

- 1.開催時期 - 三重県議会からの候補日が限定されたため、応募が少なかった。
- 2.テーマ設定
県議会側 - 地方議会に共通したテーマを設定したが、市町議会では情報が不足。
市町議会側 - テーマに関連する幅広い質疑等が相次ぎ、特定の委員会では対応が難しかった。
- 3.時間配分 - 十分な意見交換をするのに 1 テーマ 60 分では不足気味であった。
- 4.議論の進め方 - 県議会を国への陳情・要望の窓口と捉えたり、地元の要望を執行機関に配慮するよう伝達する窓口として期待する傾向がまだ多くある。今後は、意見交換の場を重ねていくうちに経験的に理解を深めていく必要がある。
- 5.主催 - 県議会側から働きかけをしたことが県主導と受け止められた面があり、今後は共催することを前提に、協議や諸準備を進めていく必要がある。

< 今後の展望(諮問会議最終答申) >

- 1.さらなる試行と検証の継続
- 2.みえ出前県議会(みえ現場 de 県議会)の活用
- 3.全議会に共通するテーマは県議会と全市町議会と合同で実施